

山田幸三郎 やまだ けいざぶろう ドイツ文學者、歌人。明治二十一年七月二十日愛知縣生れ、昭和四十七年八月十五日歿（八八―一九七二）。第一高等學校を經て、大正四年東京帝國大學文科大學獨文科卒。學生時代入信し、内村鑑三に師事。第七高等學校、第八高等學校、大阪高等學校、東京府立高等學校等教授を歴任。戰後東京都立大學教授。「萬葉集」を好んで短歌を能くし、戰時中南原繁、鈴木俊郎と歌會を催すなどした。

晩年歌集「信徒の歌えろ」刊。  
 譯書に、『ルートギツと作天と地との間』（大正九年二月十五日岩波書店）等。著書「ファウストの救」（昭和二十年六月五日待晨堂書店）、遺稿集「信仰五十年」（別冊「山田幸三郎追憶集」昭和四十八年八月二十五日山田幸三郎遺稿刊行会）等の他ドイツ語参考書數點がある。

